

# 水産庁

プレスリリース

平成23年7月8日  
水産庁

## 「2011年IWC/日本共同北太平洋鯨類目視調査」の実施について

水産庁は、7月11日(月曜日)から国際捕鯨委員会(IWC)と共同で北太平洋海域において鯨類の目視調査を実施します。

### 1.調査の目的と内容

水産庁は、鯨類の資源状況等を把握するため、太平洋鯨類生態系調査(IWC-POWER(Pacific Ocean Whale and Ecosystem Research)プログラム)の下、平成23年7月11日から北太平洋海域において、国際捕鯨委員会(IWC(注))と共同で、鯨類目視調査を実施します。

<内容>

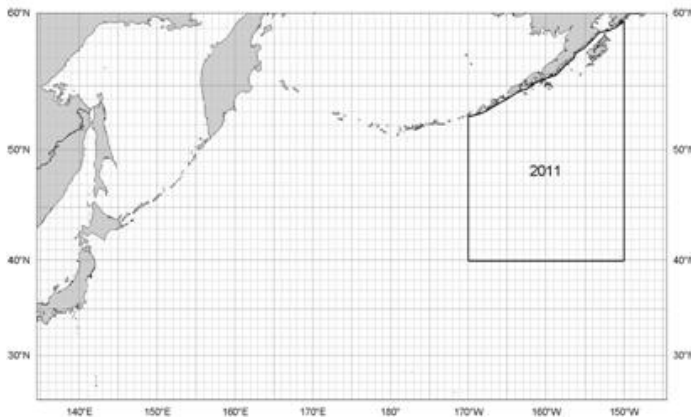
- (1)イワシクジラ及びその他の鯨類の資源量推定
- (2)イワシクジラ、ナガスクジラ及びマッコウクジラ等の系群構造に関する情報収集(特にバイオプシー(生体組織)・サンプルの収集)
- (3)セミクジラ、シロナガスクジラ等稀少鯨種の個体識別写真撮影及びバイオプシー(生体組織)・サンプルの収集

また、調査船には、日本人1名、米国人1名の合計2名の鯨類研究者が乗船し、調査に当たります。

(注)IWC:International Whaling Commission

### 2.調査期間等

- (1)調査期間 平成23年7月11日(月曜日)から9月8日(木曜日)
- (2)調査委託機関 財団法人 日本鯨類研究所
- (3)調査船 第三勇新丸(総トン数742トン)
- (4)調査海域 北太平洋海域(公海及び米国200海里水域):下図の線で囲まれた海域



### — お問い合わせ先 —

資源管理部遠洋課  
担当者: 捕鯨班 松尾、川村、竹越  
代表:03-3502-8111(内線6724)  
ダイヤルイン:03-3502-2443  
FAX:03-3591-5824

[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries  
〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁